



研究テーマ

- 1 人獣共通感染症や家畜伝染病に関する研究
- 2 腫瘍溶解性レオウイルスに関する研究
- 3 食肉・食鳥衛生検査のための教材開発

研究概要

獣医公衆衛生学は人獣共通感染症、食品衛生、環境衛生、動物の保護・管理・福祉など、動物や環境を通して人の公衆衛生 (public health) に貢献する学問分野です。現在、人を含む動物感染症に関する研究、がんウイルス療法に関する研究、獣医公衆衛生学実習に資する教材開発を行っています。

1 人獣共通感染症や家畜伝染病に関する研究

狂犬病、SFTS、レプトスピラなどの人獣共通感染症や、口蹄疫、アフリカ豚熱、豚熱、高病原性鳥インフルエンザなどの家畜伝染病について幅広く研究しています。

ウイルス性人獣共通感染症については組換えウイルスを用いた解析や抗ウイルス薬の探索等を行っています。「のうがく図鑑」(<https://www.miyazaki-u.ac.jp/agr/books/book-vet/post-77.html>)もご参照ください。

家畜伝染病については国内外において、迅速簡易診断法の開発や、野生動物や環境由来検体を用いたモニタリング手法の開発と調査を行っています。

2 腫瘍溶解性レオウイルスに関する研究

哺乳類レオウイルスは病原性の低いウイルスですが、腫瘍細胞で選択的に増殖して破壊する腫瘍溶解性ウイルスとしても知られています。このウイルスを遺伝子組換え技術により蛍光蛋白質を発現させ、術中蛍光ナビゲーション手術や光線力学療法などがん治療への応用を医学・獣医学領域において試みています。

3 食肉・食鳥衛生検査のための教材開発

Day One Competenceとは獣医師が免許取得時点で備えているべき能力のことで、その中には食肉・食鳥衛生検査が含まれています。しかし、現在の獣医系大学において、この教育を行うための教材はありません。そこで、病変の3D画像をと畜場で収集し、それをアーカイブしてVRゴーグルで閲覧できるようにするツールの開発を行っています。

ホームページ

技術相談に応じられる関連分野

感染症学分野や獣医公衆衛生学分野

メッセージ

これまでに複数の企業と共同研究や受託研究を実施しています。

山田 健太郎

やまだ けんたろう

農学部

獣医学部門獣医学領域

教授

キーワード

ウイルス、ワンヘルス、公衆衛生

特許情報・
共同研究・
応用分野など

企業との共同研究

- ・高病原性鳥インフルエンザウイルスの環境水調査が養鶏農場の防疫行動に及ぼす効果の検証に係る研究
- ・渡り鳥飛来湖沼水を用いた鳥インフルエンザウイルス検出手法の確立とその実用化に係る研究
- ・抗ウイルス化合物の開発研究
- ・グリストラップの改良・応用及び廃棄物再利用に関する研究開発
- ・銀イオン水の抗ウイルス効果の検証